平成 30 年度事業報告

【概　要】

人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”を目指し、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するため、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で事業を推進した。

「淡路を担う人づくり」では、淡路島くにうみ講座等に 1,365 名の参加を得、淡路島の魅力を広く周知するとともに、永田青嵐顕彰全国俳句大会は 3,726 名から 6,457 句の投句があり、俳句を通じたふるさと意識の高揚を図った。

「花と緑豊かな環境づくり」では、島民の参画を得ながら島内各地で淡路花祭やあわじ花へんろ事業など多彩な緑花事業を展開し、一年を通じて花の島・淡路島をアピールした。

「活気あふれる地域づくり」では、広域的な連携のもと淡路島ロングライド 150 の開催や淡路島日本遺産の PR などに取り組み、併せて民間団体への助成等も行い、多角的に淡路地域の活性化と交流人口の増加を図った。

「あわじ環境未来島構想の推進」では、家庭用蓄電池の導入支援などにより、より一層の島民の省エネに対する意識向上を図り、さらに淡路島の農と食の魅力発信や放置竹林をバイオマスエネルギーとして利用する活動に対し支援を行った。

また、淡路島の情報発信やイメージ向上を図っていくため制定した「淡路島花の応援団」に、今年度新たに 3 人の著名人を委嘱した。

【事業内容】

Ⅰ　淡路を担う人づくり

1　淡路島くにうみ講座

淡路島への交流人口が増加する中、島内外の多くの人々に、淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等を広く知っていただき、淡路島の活性化と人づくりを目的として、「淡路島くにうみ講座」を開催し、延べ 1,365 名が参加した。

＜第 1 回＞　<u>※台風のため延期し、第6回講座として開催</u>

演　　題　　美しき水と緑を守るために ～淡路島の環境問題を考える～
講　　師　　ジェフ・バーグランド氏（京都外国語大学国際貢献学部教授）
実 施 日　　平成 30 年7月８日（日）
場　　所　　洲本市文化体育館文化ホール

＜第2回＞

演　　題　　禄米三石から洲本城主に
　　～脇坂安治　出世話～
講　　師　　武田　信一氏（淡路地方史研究会顧問）
実 施 日　　平成 30 年8月 25 日（土）
場　　所　　洲本市文化体育館2F 会議室
参加者数　　135名

【第２回講座】

＜第3回＞

演　　題　　花と緑で、地域を元気に
～初心者も楽しめるガーデニングとは～
講　　師　　金子　明人氏（園芸研究家）
実 施 日　　平成 30 年9月 16 日（日）
場　　所　　洲本市文化体育館文化ホール
参加者数　　211名

【第３回講座】

＜第4回＞

演　　題　　こどもも大人も絵本で元気
～淡路島へのメッセージ～
講　　師　　長谷川　義史氏（絵本作家）
実 施 日　　平成 30 年 10 月８日（月・祝）
場　　所　　洲本市文化体育館文化ホール
参加者数　　464名

【第４回講座】

＜第5回＞

演　　題　　マンガで紡ぐ“国生み神話”と“淡路島”
講　　師　　里中　満智子氏（マンガ家）
実 施 日　　平成 30 年 12 月２日（日）
場　　所　　淡路夢舞台国際会議場イベントホール
参加者数　　190名

【第５回講座】

＜第6回＞　※第1回講座を延期し開催

演　　題　　美しき水と緑を守るために
～淡路島の環境問題を考える～
講　　師　　ジェフ・バーグランド氏
（京都外国語大学国際貢献学部教授）
実 施 日　　平成 30 年 12 月 21 日（金）
場　　所　　洲本市文化体育館 1F 会議室
参加者数　　115名

【第６回講座】

＜第7回＞

演　　題　　花鳥諷詠の新しさ

講　　師　　稲畑　廣太郎氏（俳人・ホトトギス主宰）

実 施 日　　平成 31 年2月 17 日（日）

（第十回永田青嵐顕彰全国俳句大会と併催）

場　　所　　洲本市文化体育館文化ホール

参加者数　　250名

【第７回講座】

2　永田青嵐顕彰全国俳句大会

淡路島出身の俳人　永田青嵐（永田秀次郎）の功績を広く全国に周知するとともに、俳句を通じて文化意識やふるさと意識の高揚を図るため、第十回全国俳句大会を実施した。また、第十回大会を記念して、永年にわたって俳句大会の運営に貢献していただいた方々に感謝状を贈呈したほか、歴代の入選句などを掲載した記念誌を発行した。

【第十回大会感謝状贈呈】

(1)　表彰式・特別講演会

募集期間　　平成 30 年6月１日（金）～9月 30 日（日）

応募人数　　一般 1,020 名、学生 2,706 名　計 3,726 名

投 句 数　　一般 2,028 句、学生 4,429 句　計 6,457 句

入賞句数　　永田青嵐大賞ほか 30 句(一般 15 句、学生 15 句)

入選句数　　120 句（一般 60 句、学生 60 句）

表 彰 式　　平成 31 年2月 17 日（日）

特別講演会　　稲畑　廣太郎氏（第7回淡路島くにうみ講座として実施）

【第十回大会記念誌】

(2)　淡路島吟行ツアー

実 施 日　　平成 31 年2月 18 日（月）

行　　程　　永田青嵐生家～淡路人形座～道の駅うずしお(句会)

参加者数　　28 名

【吟行ツアー（永田青嵐生家）】

(3)　出 前 講 座　（3回）

①　開 催 日　　平成 30 年6月８日（金）

学 校 名　　南あわじ市立八木小学校（6年生）

講　　師　　正井　良徳氏

参加者数　　34 名

② 開 催 日　　平成 30 年7月 10 日(火)
学 校 名　　洲本市立鳥飼小学校(6年生)
講　　師　　中谷　のぶ氏、三根　香南氏
参加者数　　21 名
③ 開 催 日　　平成 30 年9月 28 日(金)
学 校 名　　淡路市立志筑小学校(6年生)
講　　師　　中谷　のぶ氏、三根　香南氏
参加者数　　55 名

【出前講座　6月8日】

(4) 入門講座 (全3回コース)

開 催 日　　平成 30 年7月 14 日(土)・21 日(土)・28 日(土)
場　　所　　洲本市立淡路文化史料館
講　　師　　髙田 菲路氏、正井 良徳氏、中谷 のぶ氏、三根 香南氏、
稲山 忠利氏、木下 圭子氏
参加者数　　38 名(延べ 95 名)

【俳句入門講座　第1回】

【俳句入門講座　第3回】

3 花づくり人材育成事業

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会に NPO 法人あわじ緑花協会に委託して講師を派遣し、材料費等一部を助成した。

≪助成件数　13 件≫

(2) あわじ花と緑のコンクール

個人、花づくりグループ、学校、事業所等を対象に、花や緑を大切に育てている活動の成果を競うコンクールを実施した。

募集期間　平成 30 年4月 1 日(日) ～7月 31 日(火)　入賞　7 点(応募数　50 点)
展示期間　美菜恋来屋(平成 30 年 9 月 28 日～11 月 5 日)
洲本市文化体育館(平成 30 年 12 月 5 日～12 月 24 日)
ウエスティンホテル淡路回廊ギャラリー(平成 31 年 1 月 16 日～2 月 11 日)

(3) まちづくりガーデナー奨励事業【新規】

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立淡路景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成した。

≪助成件数　5件≫

(4) 若手景観園芸人材育成支援事業

県立淡路景観園芸学校で学ぶ学生が海外施設で高度な植栽管理等を学ぶ短期研修に係る経費の一部を支援した。

≪助成件数　1 件≫

Ⅱ 花と緑豊かな環境づくり

1　淡路花祭

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催した。

(1) 2018 春（平成 30 年3月 17 日(土)～5月 27 日(日)）

① オープニングイベント

実 施 日　平成 30 年3月 17 日(土)
場　　所　淡路夢舞台国際会議場イベントホール
内　　容　ﾏﾘﾝﾊﾞ・ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝﾃﾞｭｵ たまねぎーずによる
　　マリンバ演奏、花と緑の講演会（上田広樹氏）
参加者数　140 名

【花と緑の講演会】

② お絵かき花壇づくりコンテスト作品展示

展示期間　平成 30 年3月 24 日(土)～5月 26 日(土)
場　　所　淡路島国営明石海峡公園
展 示 数　10 点 （応募数 25 点）

【お絵かき花壇づくりコンテスト】

③ 花と緑の写真教室〈基礎編〉

実 施 日　平成 30 年4月7日（土）・15 日（日）
場　　所　淡路夢舞台国際会議場、淡路島国営明石海峡公園
講　　師　津田　孝二氏（写真家）
参加者数　計 26 名

【花と緑の写真教室】

④ 花物語クイズラリー

期　　間　平成 30 年3月 17 日（土）～5月 27日（日）
場　　所　県立淡路島公園ほか 10 施設
応 募 数　・花へんろコース（パルシェ香りの館等淡路市内の主要公園 5 施設）147 名
　　・花さんぽコース（あわじ花さじき等「花の札所」指定の 5 施設）　166 名

⑤ 人・花フォトコンテスト

募集期間　平成 30 年2月 17 日(土)～6 月7日(木)

入　　賞　17 点(応募数　216 点)

グランプリ【好日】

審査委員長賞【ミモザの木の下で】

(2) 2018 秋(平成 30 年9月 15 日(土)～11 月 4 日(日))

① オープニングイベント＆花と緑の講演会

実 施 日　平成 30 年 9 月 16 日(日)

場　　所　洲本市文化体育館、洲本市民広場

内　　容　県立洲本実業高校吹奏楽部による演奏

第 33 回あわじ花と緑のコンクール表彰式

花と緑の講演会(金子明人氏)、花植え体験

【金子明人氏と花植え体験】

② ｼﾝﾎﾞﾙｵﾌﾞｼﾞｪ「高田屋嘉兵衛の『辰悦丸』と島民花飾りの展示」

期　　間　平成 30 年9月 15 日(土)～11 月4日(日)

場　　所　洲本市民広場

(上記花植え体験の作品を島民花飾りとして展示)

【ｼﾝﾎﾞﾙｵﾌﾞｼﾞｪ 高田屋嘉兵衛の「辰悦丸」】

③ 高校生花とみどりのガーデン

期　　間　平成 30 年9月 15 日(土)～11 月4日(日)

場　　所　県立淡路景観園芸学校

出 展 者　県下 11 高等学校及び県立淡路景観園芸学校(特別展示)

【高校生花とみどりのガーデン】

④ 花物語クイズラリー

期　　間　平成 30 年9月 15 日(土)～11 月4日(日)

場　　所　県立淡路島公園ほか 10 施設

応 募 数　・花へんろコース(パルシェ香りの館等淡路市内の主要公園 5 施設)　101 名

・花さんぽコース(あわじ花さじき等「花の札所」指定の 5 施設)　133 名

(3) 冬咲きチューリップショー

【オープニング】

① オープニング

実 施 日　平成 31年1月 19 日(土)
場　　所　洲本市民広場
内　　容　テープカット、バルーンリリース、
洲本こども園園児による鼓隊演奏
同時開催イベント(豚汁・淡路牛ドッグの
ふるまい、野菜産直市、竹細工)
参 加 者　約 500 名

【冬咲きチューリップ展示】

② 冬咲きチューリップ展示

期　　間　平成 31 年1月 19 日(土)～2月 20 日(水)
場　　所　洲本市民広場、御食国、洲本高速 BC、
県民局、3市
内　　容　4品種、9,600 本のチューリップ展示

(4) 2019 春(平成 31 年3月 16 日(土)～6月2日(日)

【オープニングイベント】

① オープニングイベント

実 施 日　平成 31 年3月 16 日(土)
場　　所　淡路ファームパーク　イングランドの丘
内　　容　三原志知小学校和太鼓「志童」演奏、
ゆるキャラ PR、第 39 代クイーン淡路就任
披露式・第 38 代クイーン淡路退任式、
花植え体験
参加者数　500 名(うち花植え体験 80 名)

【お絵かき花壇づくりコンテスト】

② お絵かき花壇づくりコンテスト作品展示

展示期間　平成 31年3月 23 日(土)～6月2日(日)
場　　所　淡路島国営明石海峡公園
展 示 数　10 点 (応募数 38点)

③ 花物語クイズラリー

期　　間　平成 31 年3月 16 日(土)～6月2日(日)
場　　所　県立淡路島公園ほか 10 施設

④ 淡路花祭フォトコンテスト

募集期間　平成 31年1月 21 日(月)～6 月 10 日(月)
部　　門　「人・花」及び「花の札所」の2部門
応募点数　169 点

2 花街道づくり事業

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花の街道づくりを実施する個人・団体に助成した。

≪助成件数　23 件≫

3 あわじ花へんろ事業

景勝地、観光施設等のうち花の札所として指定した 71 箇所の名所を巡り、その魅力を満喫していただくため、あわじ花へんろ四季のスタンプブック、チラシ、ポスターの作成、「花の札所花だより」の発行、ホームページによる情報発信等のほか、新たに、四季折々の花の札所を紹介した「2019 花の札所カレンダー」を作成し、関係機関等に配布した。

また、「花の札所」の誘客をより一層促進するため、抽選で淡路島の特産品などが当たる、あわじ花へんろ巡礼大会（スタンプラリー）を開催した。

＜スタンプラリー実施結果＞

コース名	スタンプ数	賞　品	応募者数	当選者数
Aコース	10 スタンプ	あわじ花へんろ 花の札所カレンダー	45 名	35 名
Bコース		淡路島産玉ねぎ5kg	90 名	35 名
Cコース	35 スタンプ	淡路島鮎原米 10kg	35 名	20 名
満願成就	71 スタンプ	淡路ビーフ	26 名	10 名
計	－	－	196 名	100 名

・花の札所拡充事業助成　5件

・花の札所開花状況等情報提供促進奨励金　28 件

・「花の札所」連絡会の開催　平成 30 年6月6日（水）

・花の札所の登録　（新規）2箇所（廃止）1箇所（全体）72 箇所

《新札所（2箇所）の指定》

【71 番札所　成相寺】

【72 番札所　国清禅寺】

4 環境美化事業

『「環境立島淡路」島民会議』に参画し、「環境美化月間」の「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施した。

全島一斉清掃実施日　7月1日（日）、11 月 11 日（日）

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 地域活性化助成事業

淡路島の地域活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業、「国生みの島」をテーマとした事業等を実施する団体に対して助成した。

≪助成件数　14件≫

2 淡路島誘客支援事業

(1)「あわじ環境未来島コース」バス助成

「あわじ環境未来島構想」や環境保全への取組を学ぶ学習ツアーを、貸切バスを利用して実施する団体・事業者に対して、経費の一部を助成した。

日帰りコース　助成台数　10 台/参加者数 373 人

宿　泊コース　助成台数　13 台/参加者数 418 人

(2) 淡路島誘客キャンペーン

県民局等関係団体と連携して淡路島名誉大使の桂文枝さんを起用した誘客キャンペーンを実施した。

TV・ラジオでの CM 放送（平成 30 年9月 15 日～10 月 31 日）

羽田空港でのフューチャービジョン放映（平成 30 年9月 17 日～10 月 16 日）等

3 淡路島インバウンド対応推進事業【新規】

県民局等関係団体と連携してファムトリップやツーリズム EXPO ジャパン 2018 への出展を行うなど淡路島の魅力的な情報を国内外へ発信し、訪日外国人客の淡路島への誘客を促進した。

・ツーリズム EXPO ジャパン 2018
- 開 催 日　平成 30 年9月 20 日（木）～23 日（日）
- 場　　所　東京ビッグサイト（東京都江東区）
- 来場者数　207,352 名

・ファムトリップ
- 開 催 日　平成 31 年3月 13 日（水）～16 日（土）
- 行　　程　うずしおクルーズ、夢舞台等
- 参 加 者　香港の旅行エージェント 4 名

4 淡路島ブランド広域推進助成事業

淡路島の地場産品を利用して魅力ある「淡路島ブランド」として商品化し、島内外で広く事業を展開する団体に対して助成した。

≪助成件数　4件≫

【苺のハニーポット】

5　活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド 150 支援事業

県及び島内3市等で構成する「淡路島ロングライド 150 実行委員会」に参画し、運営経費を負担するとともに、前夜祭及び出走当日の運営、広報、4箇所のエイドステーションでのふるまい等の活動を支援した。

開 催 日　　平成 30 年9月 24 日(月・祝)　＜前夜祭:9月 23 日(日)＞
出走者数　　2,184 名
完走者数　　2,076 名(完走率 95.1%)

【スタート地点 (国営明石海峡公園)】

【ｴｲﾄﾞｽﾃｰｼｮﾝでのふるまい (洲本)】

(2) 明石海峡大橋等海上イベント事業

県、島内 3 市等で構成する「本四道路活用イベント実行委員会」に参画し、地域間交流や本四道路の利用促進の一環として実施している体験ツアーの開催を支援した。

① 明石海峡大橋海上ウォーク

開 催 日　　平成 30 年8月 31 日(金)・9月1日(土)　　参加者数 計 1,057 名
開 催 日　　平成 30 年 11 月 10 日(土)・11 日(日)　　参加者数 計 1,576 名

② 大鳴門橋うずしおウォーク

開 催 日　　平成 31 年3月8日(金)・9日(土)　　参加者数 計　277 名

(3) 神戸淡路鳴門自動車道全通 20 周年記念事業【新規】

国土交通省、県、島内3市等で構成する「神戸淡路鳴門自動車道全通 20 周年記念事業実行委員会」に参画し、記念事業実施のポスター、イベントガイドブック作成等、広報関係にかかる経費を負担した。

(4) 広域連携イベント等支援事業

淡路全島で取り組む広域的な事業として、島内外の事業者と島内 3 市が連携し、淡路島の食と観光、住まいの魅力を発信する「淡路島ええもん 美味いもんフェア」の開催を支援した。

(淡路島ええもん 美味いもんフェア)
期　　間　　平成 30 年 10 月 30 日(火)～11 月 3 日(土)
場　　所　　JA 東京アグリパーク(東京都渋谷区代々木)
来場者数　　6,467 名

(5) Awaji Art Circus 支援事業

県、島内3市等で構成する「Awaji Art Circus 実行委員会」に参画し、運営経費を負担することにより、海外アーティストによる国際パフォーミングアートフェスティバルの開催を支援した。

期　　間　　平成 30 年9月 30 日(日)～10 月 28 日(日)
場　　所　　クラフトサーカス等島内 7 ヶ所
アーティスト　　8 組(17 人)
公 演 数　　約 200回
来場者数　　約 4 万人

(6) 淡路島公園アニメパーク「ニジゲンノモリ」への参画

県立淡路島公園において、民間の知識と技術、創造力、活力を活かして推進されているアニメパーク「ニジゲンノモリ」に参画し、県及び園芸・公園協会と連携の上、運営会社に出資を行うこととしていたが、要請がなかったため出資を見送った。

6　フィルムオフィス事業

淡路島内での映画、テレビ番組、テレビCMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配等を行う「淡路島フィルムオフィス」の活動を支援し、島内外に広く淡路島の魅力を発信した。

平成30年度は、10 月 1 日から放送が始まった、NHK 連続テレビ小説「まんぷく」のタイトルバックや本編での塩づくりのシーンの撮影が吹上浜(南あわじ市)で行われたため、ロケ地巡礼に訪れる観光客が増加した。また、「うみぞら映画祭」の開催支援や「第4回全国ふるさと甲子園(ロケ地とご当地グルメの祭典)」に出展し、淡路島の魅力を広くPRした。

(1) ロケ等支援

33 件(映画 6、TV ドラマ 3、TV 番組 11、CM 2、ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝﾋﾞﾃﾞｵ 11)

【連続テレビ小説「まんぷく」ロケの様子(南あわじ市)】
役者、スタッフ総勢 100 名が来島
撮影期間：平成 30 年 7 月及び 8 月(4 日間)

(2) うみぞら映画祭

海の上に巨大なスクリーンを浮かべ、砂浜から映画を楽しむ「海の映画館（大浜海水浴場）」をメイン会場に、洲本市内3会場で開催された映画祭の広報等を支援した。

開 催 日　　平成 30 年5月 19 日(土)～20 日(日)
場　　所　　大浜海水浴場、洲本オリオンほか
来場者数　　5,000 人

【海の映画館（大浜海水浴場）】

【グルメブースの様子（大浜海水浴場）】

(3) 第 4 回「全国ふるさと甲子園」への出展

「映画やドラマのロケ地」と「ご当地グルメ」をテーマに、どれだけ多くの方がその地域を訪れたいかを競う「第 4 回全国ふるさと甲子園」に淡路島観光協会、県民局、淡路島フィルムオフィスと共同で「兵庫県淡路島」として出展し、「世界に誇る逸品大賞」の「お土産部門」で『たまねぎスープ』が第 1 位に選出された。

開 催 日　　平成 30 年8月 25 日（土）
場　　所　　アキバ・スクエア（東京都千代田区）
内　　容　　映画「亜人」、うみぞら映画祭、淡路島牛丼、玉ねぎスープの販売等
　　ブース出展

【ステージＰＲ】

【淡路島ブースの出展風景】

7 「永田秀次郎の人生」ドキュメンタリー映像制作支援事業【新規】

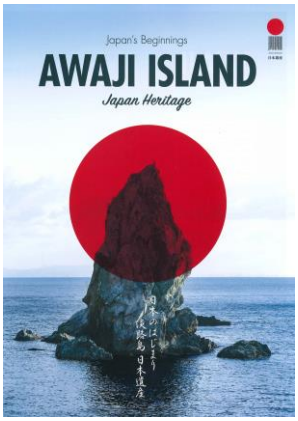
県や南あわじ市等とともに「永田秀次郎ドキュメンタリー制作委員会」に参画し、東京市長として 1940 年の幻の東京オリンピック招致や関東大震災後の復興などに功績があり、また、俳人としても知られる淡路島の偉人、永田秀次郎氏のドキュメンタリー映像の制作を支援した。

8　淡路島日本遺産を生かした地域づくり

平成 28 年4月に認定された日本遺産「『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人（あま）の営み～」を生かした地域づくりを推進するため、県民局、島内3市、淡路青年会議所、淡路島観光協会等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、フェスティバルの開催、スマホ RPG アプリ制作、ボランティアガイドの育成、多言語パンフレット作成等にかかる経費を負担した。

【スマホ RPG アプリ（イメージ画像）】

【多言語パンフレット】



9 「食」専門職大学検討事業【新規】

淡路地域における「食」にかかわる包括的かつ実践的な高等教育機関としての専門職大学開設に向け、基本計画の策定やカリキュラム内容等を検討する開設準備推進委員会に参画した。

10 パリ“ジャポニスム”での淡路島プロモーション事業【新規】

県、島内 3 市等で構成する「パリ “ジャポニスム 2018”淡路島プロモーション委員会」に参画して運営経費を負担することにより、パリで開催された日本文化紹介行事“ジャポニスム 2018”への淡路人形浄瑠璃の出展や現地旅行会社等へのインバウンド誘客プロモーションを支援した。

期　　間　平成 30 年 10 月 17 日(水)～10 月 18 日(木)
場　　所　パリ日本文化会館大ホール

11 淡路花博 20 周年記念　花みどりフェア開催の検討【新規】

国際園芸・造園博「ジャパンフローラ 2000」（淡路花博）の開催から 20 周年の節目を迎えることから、淡路花博の理念を継承・発展させる「淡路花博 20 周年記念　花みどりフェア」の開催に向け検討を行った。

12 協会設立 10 周年記念事業の推進【新規】

平成 31 年 4 月に協会設立 10 周年を迎えることから、これを記念して、淡路島の活性化等の方策を考えるシンポジウム開催の準備を進めた。

「設立 10 周年記念シンポジウム」
開 催 日　平成 31 年4月 19 日
場　　所　洲本市文化体育館文化ホール
テ ー マ「私たちの淡路島～歴史に学び、未来へつなぐ～」

Ⅳ あわじ環境未来島構想の推進

県、市、地域団体、企業等と協働して持続可能な地域づくりを目指す「あわじ環境未来島構想」を推進した。

1 あわじ環境未来島構想推進協議会の設置運営

住民、地域団体、NPO、企業等が分野を超えて協議・連携する場として「あわじ環境未来島構想推進協議会」を設置し、多様な主体の協働による構想の推進を図った。

【総会の開催】
実 施 日　平成 30 年 5 月 30 日(水)
場　　所　淡路夢舞台国際会議場メインホール
内　　容　構想の現状と今後の取組み等

【総会】

2 あわじ環境未来島セミナー

あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されている各種事業に関心を持っていただくため、プロジェクト現場等を見学するセミナーを開催した。

【第1回】
実 施 日　平成 30 年 10 月 21 日(日)
場　　所　淡路市
行　　程　五斗長垣内遺跡(鍛冶体験)⇒長澤(ピザ釜体験)⇒淡路貴船太陽光発電所
参加者数　19 名(小学生以上対象)

【五斗長垣内遺跡見学】

【五斗長垣内遺跡内での鍛冶体験】

【長澤地区でのピザ釜体験】

【淡路貴船太陽光発電所見学】

【第2回】

実 施 日　平成 31 年1月 20 日（日）

場　　所　南あわじ市・洲本市

行　　程　吉備国際大学（ショートレクチャー・施設見学）⇒美菜恋来屋（ショートレクチャー）⇒YORISOI米田家（ショートレクチャー・見学）

参加者数　12 名（小学生以上対象）

【吉備国際大学（ショートレクチャー）】

【吉備国際大学施設見学】

【美菜恋来屋（ショートレクチャー）】

【YORISOI米田家（ショートレクチャー）】

3 淡路島 農と食の体験ツアー

あわじ環境未来島構想の柱の一つである「農と食の持続」を推進するため、淡路島の特産品であるレタスの収穫体験や淡路島産食材を使用した料理作りなどの体験を通して、淡路島の農と食の魅力を発見・体験できるツアーを実施した。

【第1回】

実 施 日　平成 30 年 8 月 30 日（木）

場　　所　淡路島フルーツ農園、洲本市中山間総合活性化センター、ツギキ×森果樹園
内　　容　ブドウ収穫・味覚体験、ブルーベリー畑見学、ブルーベリージャム作り教室
　　農場及びパーラー見学
参加者数　26 名

【淡路島フルーツ農園での収穫・味覚体験】

【淡路島山田屋のブルーベリー加工体験】

【ツギキ×森果樹園での農場・パーラー見学】

【第2回】

実　施　日　平成 31 年 3 月 16 日(土)
場　　所　美菜恋来屋、(株)嶋本食品、アイ・エス・フーズ(株)、(株)アグリアイランド
内　　容　6 次産業化取組状況講話、青ネギ加工場見学、レタス収穫体験等
参加者数　26 名

【淡路いのぶた 6 次産業化取組講話】

【あわじ島レタス収穫体験】

【青ネギ加工場見学】

4 あわじ環境未来島副読本活用事業

子ども達に淡路島の将来を考えるきっかけとしてもらうため、授業で活用することのできる副読本「みらい」を島内の小学生高学年等に配布した。

発行部数　2,500 部（平成 31 年 3 月発行）

5 あわじ環境未来島構想の推進に係る情報発信

ホームページによる構想の取組を随時発信した。

アドレス　http://www.awaji-kankyomiraijima.jp/

【あわじ環境未来島構想ホームページ】

6 「EVアイランドあわじ」推進事業

(1)　EV タクシー、レンタカー導入補助事業

島内のタクシー、レンタカーを対象として、電気自動車を購入またはリースにより導入する場合の補助を行い、EV の導入促進を図った。

【ＥＶレンタカー】

(2)　電気自動車用充電器設置補助事業

充電器の設置に対して補助を行い、EV タクシー、レンタカー導入促進に向けたインフラ整備を図った。

7 竹資源供給体制整備事業

島内に豊富に存在する竹資源を、バイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大を防止するため、地域住民が自ら行う竹林整備活動等に必要な資機材費などの支援を行う市に対して助成した。

補助対象者　洲本市・淡路市
助成団体数　4団体
実 施 期 間　平成 30 年 11 月 1 日（木）～平成 31 年 2 月 28 日（木）

8 エネルギーの地産地消促進事業(家庭用蓄電池の導入支援)【拡充】

島民の省エネに対する意識向上を図るため、太陽光発電設備が設置されている住宅に一定の要件を満たした家庭用蓄電池を設置する者に対して費用の一部を支援した。

受付期間　平成 30 年 7 月 2 日(月)～平成 31 年 2 月 28 日(木)

≪助成件数　44 件≫

9 地域新電力事業による電力地産地消に向けた検討会の開催【新規】

エネルギーの効率的な活用と利益還元による住みやすいまちづくりや住民福祉の向上についてのさらなる検討を図るため、地域新電力事業の検討会を開催した。

実　施　日　平成 30 年 10 月 25 日(木)

場　　所　洲本総合庁舎　多目的ホール

10 住民参加型太陽光発電事業(住民参加型くにうみ太陽光発電所)

県が住民参加型市場公募債を発行して県民から募った資金を発電所の建設・運営資金として借り受け、県立淡路島公園隣接用地にメガワット級の太陽光発電所を建設し、全量売電を行っている。平成 26 年 3 月の設置以降、毎年、計画を上回る 130 万 kWh 前後の発電を行い、官民協働の創エネルギーの取組に対して県外、国外から団体が視察に訪れている。

- 場　　所　淡路市岩屋2423番地(県立淡路島公園隣接用地約1.4ha)
- 発 電 出 力　950kW
- 計 画 発 電 量　100万kWh
- H30年度発電量　約126万kWh(一般家庭約350世帯分の年間電気使用量に相当)

Ⅴ 普及啓発

1 ホームページでの情報発信

ホームページで、当協会の事業及び淡路島の情報を発信した。

ｱﾄﾞﾚｽ http://www.kuniumi.or.jp/

2 各種媒体を使った広報

ノベルティグッズ(「2020 花の札所カレンダー」や花の種等)を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行った。

3 事業への協賛

行政機関や当協会の目的に合致する各種団体が実施する事業に協賛した。

4 協会広報紙(PROFILE)の作成

当協会の概要や事業を紹介する広報誌 1,500 部を作成し、配布した。

【協会広報紙（ＰＲＯＦＩＬＥ）】

【協会ホームページ】

5 淡路島花の応援団

淡路島の魅力を島内外に広く発信し、淡路島のイメージアップを図っていくため、島外の著名人で淡路島の魅力を広めることに賛同していただける方に「淡路島花の応援団」を委嘱している。今年度は新たに 3 名の方に委嘱し、計 10 名となった。

(1) 里中 満智子（漫画家）

委 嘱 日　平成 30 年 12 月 2 日（日）

(2) ジェフ・バーグランド（京都外国語大学国際貢献学部教授）

委 嘱 日　平成 30 年 12 月 21 日（金）

(3) 稲畑 廣太郎（俳人、「ホトトギス」主宰）

委 嘱 日　平成 31 年 2 月 17 日（日）

【附属明細書の作成について】

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成しておりません。

令和元年 6 月

一般財団法人 淡路島くにうみ協会